

令和7年10月1日

保護者の皆様

日野市立日野第七小学校

校長 大西 浩之

学力向上委員会

令和7年度「全国学力・学習状況調査」及び「総合学力調査」 の結果と今後の取組について

日頃より、ご理解とご協力をありがとうございます。

1学期に、6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」と5年生を対象に行われた「総合学力調査」の結果分析により、明らかになった指導の必要がある課題と今後の取組についてお知らせいたします。学校全体の結果ですので、個人の結果については、1学期中にお配りした個人票をご覧ください。

【全国学力・学習状況調査】(対象：6年生)

平均正答率(%)

	国語	算数	理科
本校	73	64	59

本校において特に指導の必要がある課題

★国語科

- ・「話すこと・聞くこと」において、「相手の話したい意図を読み取ること」「言葉と図を使って説明した理由を考えること」について課題がある。

★算数科

- ・「図形」において、平行四辺形を書くためのコンパスの針を刺す位置を書く、「測定」の領域において、はかりの目盛りを読むことについて重点的に指導が必要である。
- ・「データの活用」において、読み取りに必要なデータを選んだりそこから判断したりすることに課題がある。

★理科

- ・課題に対して条件に合うように自分の考えを記述することに課題がある。

今後の取組

★国語科

- ・相手や目的を意識して考えを話したり、友達の意図を考えながら話を聞いたりする学習を授業の中に多く取り入れる。

★算数科

- ・学んだことを活用して応用問題を解くことで定着を図る。
- ・図形を見たり書いたり触ったりする、測定では実際に測ったり比べたりするなど多くの体験を取り入れ、実感的に理解できるようにする。
- ・データから読み取ったことを文章で説明したり、データを活用して課題解決をしたりする活動を取り入れる。

★理科

- ・実験結果をもとに、課題に対する考察や結論を記述する活動を取り入れる。

【総合学力調査】 (対象：5年生)

平均正答率 (%)

	国語	算数
本校	57.1	63.4

本校において特に指導の必要がある課題**★国語科**

- ・目的に応じて文章全体から必要な情報を見付け、条件に沿って文章にまとめる問題に課題が見られる。
- ・意識に関する調査で、学力と相関がみられる学び方のうち、「国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にしながら書くことがある。」「国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。」ことについて課題が見られる。

★算数科

- ・「整数の計算」「活用」に関する学習の定着を図る必要がある。
- ・意識に関する調査で、学力と相関がみられる学び方のうち、「算数の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。」「算数の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。」ことについて課題が見られる。

今後の取組**★国語科**

- ・学んだことを組み合わせて課題解決をしていくことで、さらなる定着を図る。
- ・目的や条件に沿って文章を書くために、文例や使うとよい言葉を示す。
- ・学び合いにおいて、児童が自分や友達の書き方のよさや課題に気付けるようにする。
- ・個に応じてヒントカードを出したり、さらに工夫するとよい点を示したりして、個々の児童がもっている力を生かして文章を書くことができるようにする。

★算数科

- ・学んだことを組み合わせて課題解決をしていくことで、定着を図る。
- ・ドリルパークなどを活用し定着しているかどうか確認をする。
- ・課題解決に向けて、何をどのように解決すればよいのか見通しを具体的にもたせたり、学んだことを組み合わせて解決するような生活に結び付く課題を解いたりする。

日野第七小学校では、「一人一人を大切に みんなの笑顔がはじける学校～みんなのウェルビーイング～
一分かる授業（授業U D およびU D Lを通して）」というテーマで、算数科を中心に研究をすすめています。

授業U Dとは、ユニバーサルデザインの視点で、授業の進め方を明確に示して見通しをもつことができるようにしたり、指示を視覚的に示して何をやるのか理解できるようにしたりすることで、どの子にも分かる授業に向けて工夫をしていくことです。U D Lとは、「学びのユニバーサルデザイン」のことで、子どもたちのニーズや多様性に合わせて、複数のオプション（選択肢）を用意していくことです。

今年は、2学期に3回の研究授業を行い、講師の先生のご指導を頂きながら研究を深めていきます。目の前の子どもたちの姿をもとに、授業U DやU D Lの視点を取り入れて、授業改善に取り組んでいきます。